



夏だあ

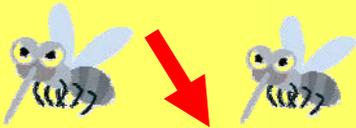
とびひ



に注意!

あっという間に
広がっちゃうよ

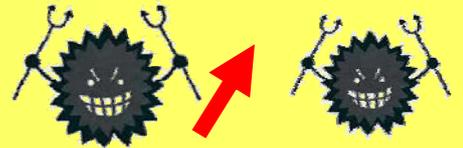
あせも・虫さされ
ケガのキズ



かきむしる



とびひ
(かゆみを伴う水ぶくれ)

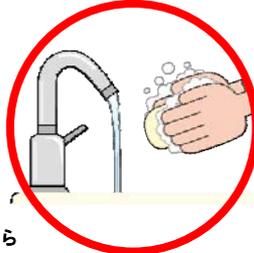


バイキンがからだ
じゅうに広がる

でんせんせいのおかしん
とびひ(伝染性膿痂疹)は、夏に子どもを中心に流行する皮膚の感染症です。虫さされやケガでできた傷に、鼻等にいる細菌が手を介して入ることがかゆみを伴う水ぶくれができます。感染力が強いので早めに適切に治療することが重要です。詳細は衛生環境研究所ホームページでリーフレットとして紹介していますので、ぜひ御参照ください。



日常生活で注意すること



しっかり手洗
いをしよう



患部をかいたり、
触ったりしない



爪を短めに切ろう

とびひのリーフレットはこちら



平成29年8月号

気になる症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。

◆感染症に関するお問い合わせ
京都市保健福祉局 健康安全課
(TEL:075-222-4244 FAX:075-222-4062)

◆発行元 京都市衛生環境研究所 管理課
(TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232)
※衛生環境研究所のホームページからも御覧になれます。

